

第3回目の GIS News! です

平成 12 年も終わりに近づき、忙しい毎日をお過ごしではないかと思ひます。そんな時こそ、まだ 3 回目にして今年最後の「GIS News」を読んで一息ついてみてはどうでしょうか。

今回の話題

GIS を導入したら、「仕事は大変になるの？ 楽になるの？」
そんな質問をよく受けることがあります。今回は、このことについて考えてみたいと思ひます。

GIS は単なる道具のひとつ

GIS のことを簡単に言えば、「必要な情報を、短時間で容易に入手できるツール」となります。そこで GIS を利用するためには以下のような問題を克服する必要があります。

データの保存場所を、これまでの紙や表計算ソフトから GIS ソフトに移行する必要があります。

GIS ソフトの操作を新たに覚える必要があります。

特に、操作方法に不安を感じる方が多いかと思ひますが、基本的に GIS は難しい操作を必要としません。皆さん方から「簡単に操作できるように」と開発者に依頼することで、敷居の高くない GIS を構築することが可能です。

このような問題を克服し、「GIS を導入 = 必要な情報が短時間で入手できるようになる = 仕事が楽になる」といったこととなります。また、そこで空いた時間を従来実施できなかった調査、検討を十分に行う時間として利用することができ、より確実な仕事を行うことが可能にもなります。

そういった意味からすれば「大変になる」と言うことも納得していただけるのではないかと思ひます。

私たちが考える GIS は仕事を「効率良く 確実にこなす」ための、ひとつの道具です。今後、皆さんにより良い仕事をなさって頂くためにも、ぜひ心に留めていただきたいと思ひます。

次回の GIS News!

次回の GIS News は、年明け後の 1 月 15 日発行予定です。
来年もよろしくおつき合い下さい。
それでは皆さん、良いお年を...

編集: 協同組合山形県地理情報センター 横山 発行日: 2000 年 12 月 21 日

Geographic Information System

